



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社フージャースホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3284 URL <https://www.hoosiers.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣岡 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 鳴神 吉朗 (TEL) 03-3287-0704
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	45,876	△11.2	3,462	13.5	2,741	0.7	1,569	△28.6
2021年3月期第3四半期	51,686	△5.5	3,049	△14.5	2,723	△3.0	2,199	19.2

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,087百万円 (10.9%) 2021年3月期第3四半期 1,882百万円 (10.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	44.37	44.31
2021年3月期第3四半期	38.60	38.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	129,445	37,157	22.8
2021年3月期	136,030	36,368	21.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 29,510百万円 2021年3月期 28,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	6.00	—	18.00	24.00
2022年3月期	—	17.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	19.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	△5.3	5,700	4.9	5,000	8.3	3,100	7.7	87.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	36,916,775株	2021年3月期	36,916,775株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,537,512株	2021年3月期	1,537,512株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	35,379,263株	2021年3月期3Q	56,996,788株

自己株式数については、当第3四半期連結会計期間末に役員株式給付信託が所有する当社株式410,550株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 売上実績	10
(2) 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におきまして、契約戸数は996戸9棟、引渡戸数は832戸8棟、当第3四半期連結会計期間末の管理戸数は18,894戸となっております。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績として、売上高45,876百万円（前年同四半期比11.2%減）、営業利益3,462百万円（前年同四半期比13.5%増）、経常利益2,741百万円（前年同四半期比0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,569百万円（前年同四半期比28.6%減）を計上いたしました。

不動産開発事業、CCRC事業及び不動産投資事業においては、売買契約成立時ではなく顧客への引渡時に売上が計上されるため、その引渡時期により四半期ごとの売上高に偏りが生じる傾向があります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(I) 不動産開発事業

当第3四半期連結累計期間におきまして、「ブラウド世田谷代田」「デュオヴェール仙台上杉」などマンション370戸の引渡、「デュオアベニュー本山グラン」など戸建住宅64戸の引渡等により、売上高18,346百万円（前年同四半期比50.5%減）、営業利益655百万円（前年同四半期比76.5%減）を計上いたしました。

(II) CCRC事業

当第3四半期連結累計期間におきまして、「デュオセーナ大宮」などマンション390戸の引渡等により、売上高16,487百万円（前年同四半期比187.9%増）、営業利益2,056百万円（前年同四半期は営業利益56百万円）を計上いたしました。

(III) 不動産投資事業

当第3四半期連結累計期間におきまして、売上高6,265百万円（前年同四半期比41.2%増）、営業利益364百万円（前年同四半期比242.9%増）を計上いたしました。

① 不動産売上高

棚卸資産の売却により、売上高3,962百万円（前年同四半期比66.1%増）を計上いたしました。

② 賃貸収入

保有収益物件の安定稼働により、売上高2,007百万円（前年同四半期比10.6%増）を計上いたしました。

(IV) 不動産関連サービス事業

当第3四半期連結累計期間におきまして、売上高4,724百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益224百万円（前年同四半期は営業損失77百万円）を計上いたしました。

① マンション管理収入

マンション管理において、「デュオヴェール仙台上杉」などの管理受託を新たに開始し、売上高1,432百万円（前年同四半期比7.2%増）を計上いたしました。

② スポーツクラブ運営収入

スポーツクラブの運営を中心に、売上高2,606百万円（前年同四半期比8.7%増）を計上いたしました。

③ その他収入

ホテル運営及び工事受託等において、売上高685百万円（前年同四半期比4.6%増）を計上いたしました。

スポーツクラブ及びホテル運営事業については、昨年度に引き続き政府による「緊急事態宣言」を受け、一部店舗の休業等を行いました。臨時休業期間中に各店舗で発生した固定費については、新型コロナウイルス感染症拡大による損失として特別損失に計上しております。

(V) その他事業

PFI事業により、売上高53百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益15百万円（前年同四半期比225.8%増）を計上いたしました。

不動産分譲事業における引渡年間計画に対する契約進捗は下記のとおりであり、当社グループの中心事業である分譲マンションでは97.4%が契約済みとなっております。

2022年3月期	計画引渡戸数	契約済戸数	進捗率
分譲マンション	783戸	763戸	97.4%
シニア向け分譲マンション	517戸	450戸	87.0%
分譲戸建	89戸	87戸	97.8%
合計	1,389戸	1,300戸	93.6%

(注)1 「分譲マンション」は、ファミリーマンション及びコンパクトマンションの戸数を集計しております。

2 共同事業物件については、共同事業比率を考慮した戸数表記（小数点第1位を切り捨て）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末におきまして、棚卸資産が抑制されたこと及び借入金残高の減少等により、資産合計が129,445百万円（前連結会計年度末比4.8%減）、負債合計が92,287百万円（前連結会計年度末比7.4%減）、純資産合計が37,157百万円（前連結会計年度末比2.2%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想は、当第3四半期連結累計期間の業績及び販売状況は予定通りに進捗しており、業績環境につきましても想定範囲内であり、2021年5月13日の「2021年3月期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,293	27,056
売掛金	382	698
商品	34	28
販売用不動産	31,122	34,098
仕掛販売用不動産	37,029	32,406
営業投資有価証券	1,463	800
前払費用	1,539	1,436
その他	4,295	3,175
貸倒引当金	△17	△15
流動資産合計	105,142	99,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,081	12,169
機械装置及び運搬具（純額）	91	0
工具、器具及び備品（純額）	107	89
土地	11,166	9,372
建設仮勘定	3	3
有形固定資産合計	22,449	21,635
無形固定資産		
のれん	177	167
その他	271	298
無形固定資産合計	448	466
投資その他の資産	7,990	7,659
固定資産合計	30,888	29,760
資産合計	136,030	129,445
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,045	646
短期借入金	11,216	6,874
1年内償還予定の社債	3,582	3,666
1年内返済予定の長期借入金	14,826	16,080
未払法人税等	1,332	253
前受金	4,517	5,233
賞与引当金	315	194
アフターサービス引当金	48	48
その他	4,644	3,906
流動負債合計	41,530	36,903
固定負債		
社債	2,628	2,953
長期借入金	51,845	48,673
繰延税金負債	909	914
役員株式給付引当金	223	223
退職給付に係る負債	160	148
資産除去債務	469	562
その他	1,894	1,908
固定負債合計	58,131	55,384
負債合計	99,661	92,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,882	5,000
資本剰余金	—	10,882
利益剰余金	14,042	14,359
自己株式	△990	△990
株主資本合計	28,934	29,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	146
為替換算調整勘定	△185	112
その他の包括利益累計額合計	△72	259
新株予約権	0	0
非支配株主持分	7,507	7,647
純資産合計	36,368	37,157
負債純資産合計	136,030	129,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	51,686	45,876
売上原価	41,155	35,389
売上総利益	10,530	10,486
販売費及び一般管理費	7,481	7,023
営業利益	3,049	3,462
営業外収益		
受取利息	47	44
受取配当金	29	156
解約金収入	113	135
為替差益	136	—
補助金収入	150	94
投資事業組合運用益	112	—
その他	39	53
営業外収益合計	629	484
営業外費用		
支払利息	785	748
支払手数料	95	175
株式交付費償却	23	—
為替差損	—	171
持分法による投資損失	32	88
その他	19	21
営業外費用合計	955	1,205
経常利益	2,723	2,741
特別利益		
固定資産売却益	—	2
資産除去債務戻入益	—	9
投資有価証券売却益	1	—
債権譲渡益	475	—
特別利益合計	476	11
特別損失		
投資有価証券評価損	—	25
災害による損失	—	19
店舗閉鎖損失	—	11
新型コロナウイルス感染症拡大による損失	277	70
特別損失合計	277	126
税金等調整前四半期純利益	2,922	2,626
法人税、住民税及び事業税	663	504
法人税等調整額	93	385
法人税等合計	757	889
四半期純利益	2,165	1,736
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34	167
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,199	1,569

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	2,165	1,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	34
為替換算調整勘定	△325	304
持分法適用会社に対する持分相当額	11	11
その他の包括利益合計	△282	350
四半期包括利益	1,882	2,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,925	1,901
非支配株主に係る四半期包括利益	△42	185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2021年6月25日開催の第8期定時株主総会の決議に基づき、2021年6月28日付で減資の効力が発生し、資本金の額を10,882百万円減少させて、全額を資本剰余金に振り替えております。

この結果、第3四半期連結会計期間末において資本金が5,000百万円、資本剰余金が10,882百万円になっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	不動産 開発事業	CCRC 事業	不動産 投資事業	不動産関連 サービス事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	37,083	5,725	4,435	4,389	52	51,686	—	51,686
セグメント間の 内部売上高又は振替高	39	75	211	209	—	535	△535	—
計	37,122	5,801	4,647	4,598	52	52,222	△535	51,686
セグメント利益又は損失(△)	2,784	56	106	△77	4	2,874	175	3,049

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△23百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)の損益198百万円であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	不動産 開発事業	CCRC 事業	不動産 投資事業	不動産関連 サービス事業	その他事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	18,346	16,487	6,265	4,724	53	45,876	—	45,876
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	264	219	—	484	△484	—
計	18,346	16,487	6,529	4,944	53	46,360	△484	45,876
セグメント利益	655	2,056	364	224	15	3,316	145	3,462

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額△17百万円、各報告セグメントに配分出来ない額△1百万円及び各報告セグメントに配分していない持株会社(連結財務諸表提出会社)の損益164百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 売上実績

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同四半期比 (%)
セグメントの名称	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)	
(I) 不動産開発事業			
① 不動産売上高	36,905	18,265	49.5
② その他収入	177	80	45.2
不動産開発事業合計	37,083	18,346	49.5
(II) CCRC事業			
① 不動産売上高	5,253	15,624	297.4
② その他収入	471	862	182.8
CCRC事業合計	5,725	16,487	287.9
(III) 不動産投資事業			
① 不動産売上高	2,385	3,962	166.1
② 賃貸収入	1,815	2,007	110.6
③ その他収入	235	295	125.5
不動産投資事業合計	4,435	6,265	141.2
(IV) 不動産関連サービス事業			
① マンション管理収入	1,336	1,432	107.2
② スポーツクラブ運営収入	2,396	2,606	108.7
③ その他収入	655	685	104.6
不動産関連サービス事業合計	4,389	4,724	107.6
(V) その他事業	52	53	100.2
合計	51,686	45,876	88.8

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 不動産開発事業、CCRC事業及び不動産投資事業においては、売買契約成立時ではなく顧客への引渡時に売上が計上されるため、その引渡時期により四半期ごとの売上高に偏りが生じる傾向があります。

3 不動産開発事業、CCRC事業における賃貸収入は、金額的重要性が乏しいため、その他収入に含んでおります。

(2) 販売実績

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)			
	期初契約数	期中契約数	期中引渡数	期末契約残
	取扱高	取扱高 (前年同四半期比)	取扱高 (前年同四半期比)	取扱高 (前年同四半期比)
不動産 開発事業	719戸 一区画 一棟 26,430 百万円	862戸 5区画 一棟 36,493 百万円 (92.2%)	931戸 3区画 一棟 36,905 百万円 (119.9%)	650戸 2区画 一棟 26,017 百万円 (86.9%)
CCRC事業	238戸 一区画 一棟 9,383 百万円	174戸 一区画 一棟 6,902 百万円 (71.7%)	137戸 一区画 一棟 5,253 百万円 (70.2%)	275戸 一区画 一棟 11,032 百万円 (138.9%)
不動産 投資事業	2戸 一区画 一棟 82 百万円	18戸 一区画 4棟 2,375 百万円 (18.2%)	15戸 一区画 4棟 2,385 百万円 (30.9%)	5戸 一区画 一棟 73 百万円 (1.4%)
合計	959戸 一区画 一棟 35,896 百万円	1,054戸 5区画 4棟 45,772 百万円 (73.5%)	1,083戸 3区画 4棟 44,544 百万円 (96.9%)	930戸 2区画 一棟 37,124 百万円 (85.8%)

区分	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)			
	期初契約数	期中契約数	期中引渡数	期末契約残
	取扱高	取扱高 (前年同四半期比)	取扱高 (前年同四半期比)	取扱高 (前年同四半期比)
不動産 開発事業	502戸 一区画 一棟 19,860 百万円	740戸 一区画 一棟 29,596 百万円 (81.1%)	434戸 一区画 一棟 18,265 百万円 (49.5%)	808戸 一区画 一棟 31,190 百万円 (119.9%)
CCRC事業	219戸 一区画 一棟 8,538 百万円	249戸 一区画 一棟 10,351 百万円 (150.0%)	390戸 一区画 一棟 15,624 百万円 (297.4%)	78戸 一区画 一棟 3,265 百万円 (29.6%)
不動産 投資事業	1戸 一区画 3棟 1,844 百万円	7戸 一区画 9棟 4,788 百万円 (201.5%)	8戸 一区画 8棟 3,962 百万円 (166.1%)	1戸 一区画 4棟 2,671 百万円 (-)
合計	722戸 一区画 3棟 30,243 百万円	996戸 一区画 9棟 44,736 百万円 (97.7%)	832戸 一区画 8棟 37,852 百万円 (85.0%)	887戸 一区画 4棟 37,127 百万円 (100.0%)

(注) 1 取扱高は、マンション及び戸建住宅等の税抜販売価格の総額であり、共同事業物件におきましては、出資割合を乗じたのち小数点以下の端数を切り捨てた戸数及び取扱高を記載しております。

2 当第3四半期連結累計期間の不動産投資事業における期末契約残の前年同四半期比は1,000%を超えているため、記載しておりません。